



東京・石中会だより

第11号

発行 東京・石中会広報委員会 事務局 / 〒330-0856 さいたま市大宮区三橋 4-339-4
加藤友成方 TEL & FAX/048-877-9708 事務局メールアドレス t-sekichukai-tk@jcom.home.ne.jp
平成27年6月1日

石巻
復興支援
特集号
PART III

地方創生事業 第一号に認定 特集・石巻地域再生計画

石巻市の地域再生計画が安倍政権の進める地方創生事業の第一号認定を平成27年1月22日に受けました。昨年末の改正地域再生法に基づき地方自治体による地方創生のモデル事業と位置づけられています。今号はその概要について石巻市より寄稿いただきましたのでご紹介いたします。

加藤友成（18回生）

あいさつ



拝啓 早春の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災以降、会員の皆様から力強い御支援と御声援を頂いていることに対し、心より感謝申し上げます。

東日本大震災から4年が経過した今年は、5月の仙石線全線開通、8月の水産卸売市場の完成、そして復興公営住宅も平成27年度内に1,500戸の供給予定となり、「再生」に向けてさらに一步を踏み出した様々な取り組みを着実に進め、「復興」を確かなものにしていく重要な年となります。

また、東日本大震災最大の被災地石巻市にとって、少子・高齢化への対応や定住の促進は喫緊の課題であり、これまでも次世代型地域包括ケアの構築や、かわまちづくりと連動した賑わいと安らぎのある、歩いて暮らせるまちづくりの推進に向け取り組んでまいりました。

その取り組みが先導的なものとして、国の地域活性化のモデルケースに選定され、さらに、昨年末に改正された地域再生

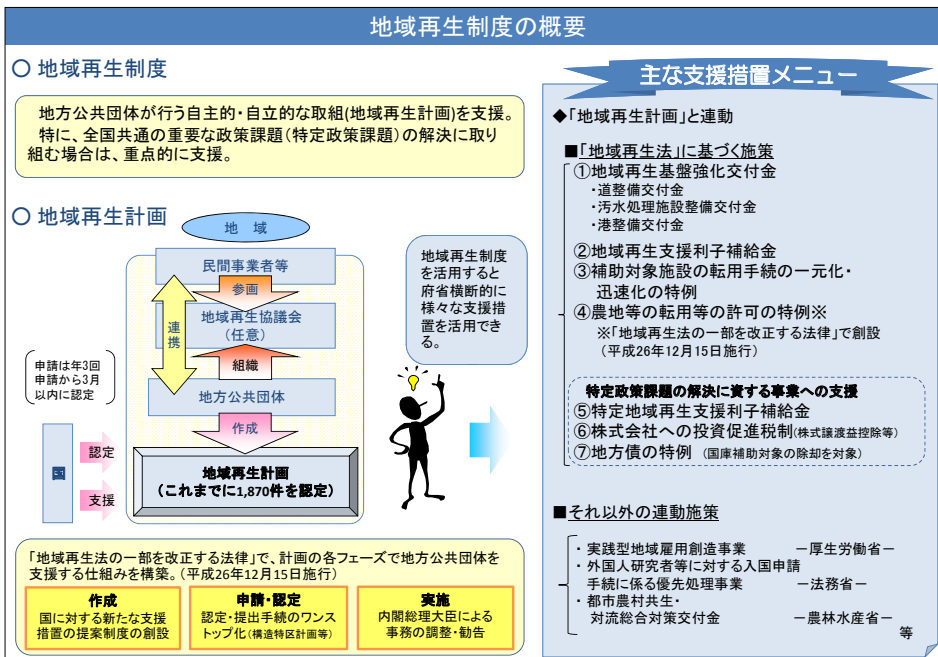
法に基づく地域再生計画の第1号認定を得たところであります。

東日本大震災により本市は、依然として厳しい状況に置かれておりますが、新たな街づくりを推進しながら、快適で住みやすく、市民の夢や希望を実現する「新しい石巻」の創造を目指してまいりますので、今後とも、本市の復興を見守りいただければ幸いと存じます。

末筆ではありますが、貴会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げ、御挨拶といたします。

敬具

平成27年3月
石巻市長 亀山 紘



石巻市地域再生計画 ～東日本からの復興まちづくりと被災者を支える地域包括ケアの展開～



計画概要

■背景

- 東日本大震災以前から進む人口減少が 東日本大震災によって加速化
- J R石巻駅周辺の中心市街地では、地域コミュニティの活力低下、地域福祉や防災の担い手不足、地域購買力の低下による商業店舗の減少が顕在化

■目標

- 復旧・復興と連動した、安全・安心のまちづくりを行い、中心市街地のにぎわいを取り戻すとともに、高齢者や被災者への心のケアにも積極的に取り組むことで、市民が心身ともに健康でいきがいを持って生活できるまちづくりを推進するために、次に掲げる3つを柱とした各種事業に取り組みます。

■取組事項

○津波復興拠点を核とした地域包括ケアの展開

- ①次世代型地域包括ケアシステムの構築
被災者や高齢者のみならず、子育て世代や、障がい者等も含めた「次世代型の地域包括ケアシステム」の構築
- ②J R石巻駅前の津波復興拠点化(詳細は2ページ)

○かわまちづくりと連動した賑わいと安らぎのある、歩いて暮らせるまちづくりの推進

- ①中心市街地の商業・観光拠点づくり(詳細は3ページ)
- ②被災元地活用による安らぎのあるまちづくり(詳細は4ページ)

○文化芸術活動の推進による人との豊かなふれあいと、歴史的資源を活かした安らぎのある空間づくりの推進

- ・複合文化施設の建設
- ・旧石巻ハリストス正教会教会堂の保存・整備・活用
- ・陶芸丸寿かんげい丸の保存・整備・活用



© 2015 石巻市

石巻市地域再生計画

(1)津波復興拠点を核とした地域包括ケアの展開



J R石巻駅前の津波復興拠点化

本市の都市核拠点であるJ R石巻駅周辺地域において保健・福祉・医療・介護・生活支援・地域コミュニティ・行政・防災の拠点機能を集約し、災害時の市民・来訪者の避難、行政機能・救急医療機能の維持、市民生活の復旧支援等を迅速かつ確実に実施するための津波防災拠点を整備します。

<p>石巻市立病院</p> <p>【平常時の機能】 救急、緩和ケア、在宅支援等多様な医療ニーズに対応</p> <p>【災害時の機能】 生活サービス拠点、医療提供、臨時トリアージスペース</p> <p>平成28年夏頃開院予定</p>	<p>石巻市立病院イメージ</p>	
<p>(仮称)ささえあいセンター</p> <p>【平常時の機能】 地域包括ケアの拠点施設、世代間交流施設</p> <p>【災害時の機能】 平常時のしゅくみを活用した福祉避難所</p> <p>平成28年度完成予定</p>		
<p>(仮称)防災センター</p> <p>【平常時の機能】 災害や防災に関する情報収集、学習施設</p> <p>【災害時の機能】 救急・救助の指令拠点、災害復旧支援活動隊の詰所、災害復旧活動の関係機関車両駐車場</p> <p>平成28年度完成予定</p>	<p>歩行者デッキ</p> <p>【平常時の機能】 駅周辺施設と連携した歩行者の安全な移動空間</p> <p>【災害時の機能】 避難動線として機能</p> <p>平成28年度完成予定</p>	<p>にぎわい交流広場</p> <p>【平常時の機能】 イベント利用、駅前の修景、防災活動訓練拠点</p> <p>【災害時の機能】 物資配給空間、炊き出し等の支援活動空間</p> <p>平成28年度完成予定</p>

© 2015 石巻市

石巻市地域再生計画

(2)かわまちづくりと連動した賑わいと安らぎのある、歩いて暮らせるまちづくりの推進①



中心市街地の商業・観光拠点づくり

交通利便性に富み、様々な都市機能集約が図られる中心市街地において、市民の日常生活を支えるとともに、これからの市の発展や被災した市民が自らの力で立ち上がる契機にもなる交流人口の増加に寄与する商業・観光拠点としての整備を推進します。

市街地再開発事業等による住宅の整備

- 中央三丁目1番地区(約0.5ha)
 - ・分譲住宅等を計画・完成目標:平成27年度
- 立町二丁目5番地区(約0.3ha)
 - ・復興公営住宅及び分譲住宅等を検討
 - ・完成目標:平成28年度
- 中央一丁目14・15番地区(約0.5ha)
 - ・復興公営住宅及び分譲住宅等を検討
 - ・河川堤防と強調した整備を検討・完成目標:平成28年度
- 立町一丁目4・5番地区(約0.7ha)
 - ・分譲住宅、地域の核としての商業施設等を検討
 - ・復興公営住宅を検討中・完成目標:平成29年度
- 中央二丁目4番地区(約0.6ha)
 - ・住宅や商業施設等を検討・完成目標:平成29年度
- 中央二丁目3番地区(約0.6ha)
 - ・分譲住宅や商業施設等を検討・完成目標:平成29年度



水辺と緑の遊歩道(プロムナード)の整備

河川堤防を活かし、水辺と堤防とまちを一体的に活用した賑わいを呼ぶ空間を創出



© 2015 石巻市

観光交流施設の整備

- 中央二丁目11番地区(約1.9ha)
 - ・(仮称)生鮮マーケット等にぎわい交流施設を検討(河川堤防と協調した整備を検討)
 - ・完成目標:平成28年度



石巻市地域再生計画

(2)かわまちづくりと連動した賑わいと安らぎのある、歩いて暮らせるまちづくりの推進②



被災元地活用による安らぎのあるまちづくり

造船業、漁業、物流の拠点として発展し、娯楽施設が立地するとともに、川面を活かした様々な行事が行われるなど、古くから市民のにぎわい・交流の拠点として機能してきた旧北上川の中瀬周辺において、震災の記憶と教訓を活かしたまちづくりを進め、交流の場としての空間を整備して、復興のシンボルと位置付けることにより、定住、交流人口の拡大を図ります。

(仮称)中瀬公園の整備

- 水辺と石ノ森萬画館を活かした公園の整備
 - 来訪者の安全を確保する園路
 - 水辺を活かした親水空間
 - 川にまつわる歴史や水の環境を意識できる体験学習の場
 - 完成目標:平成32年度

防災マリーナの整備

- 津波や高潮時に河川内船舶の流出による被害の極小化
 - 長期係留船舶対策
 - 新たな観光やまちづくり拠点
- 整備概要
 - 係留形式:堤防内側への陸上係留
 - 整備面積:約17,000㎡(100隻保管)
 - 主な施設:管理棟、駐車場、浮棧橋
 - ボートヤード、上下架施設(固定式クレーン)
 - 完成目標:平成31年度



(仮称)南浜シンボル公園の整備

- 復興祈念園として国・県・市が連携し整備
 - 東日本大震災により犠牲となった方々への追悼や御支援いただいた国内外の方々に対して復興への強い意志を発信する場
 - 完成目標:平成32年度



© 2015 石巻市

お得な石巻市ふるさと納税のお誘い

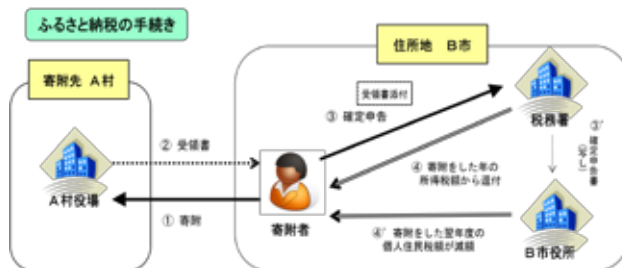
ふるさと納税「がんばる石巻応援寄附」について



■ふるさと納税とは

○ふるさと納税とは、今、お住まいの自治体へ納めている税金の一部を自分の生まれた故郷や応援したい自治体などへ寄附という形で納税できる制度です。

○ふるさと納税制度を利用した寄附をした場合、2,000円を超える部分について「寄附をした年分の所得税」及び「寄附をした年の翌年分の個人住民税」の税額から一定額が控除されます。



(総務省ホームページより)

■ふるさと納税の使い道

○皆様からのふるさと納税（寄附金）は、「がんばる石巻応援基金」として積み立て、石巻市が目指す将来像「笑顔と自然あふれる元気なまち」をつくるための重点事業に使わせていただきます。あらかじめ、以下の6つの項目から使い道をご指定いただくことも可能です。

1. 市民活動の推進
2. 教育の充実
3. 産業振興
4. 保健福祉の充実
5. 環境保全・文化の振興
6. 道路・住宅・公共交通の整備

【これまでの主な事業実績】

住民バス運行費補助事業
(道路・住宅・公共交通の整備)



乳児家庭全戸訪問事業
(保健福祉の充実)



寄磯小学校屋内運動場屋根・外壁改修事業(教育の充実)
<改修前> <改修後>



© 2015 石巻市

ふるさと納税「がんばる石巻応援寄附」について



■特産品の提供について

○ふるさと納税として5,000円以上の寄附をいただいた方に特産品を提供し、地元産業の復興をさらに加速していきたいと考えております。

○特産品は、鮮魚、お米、仙台牛など約40種類をご用意しています。



※特産品は寄附額に応じてお選びいただけます。1回の寄附につき特産品等1点のご提供となります。

■申込・納付方法

○納付方法により申込手順が異なります。

○インターネットをご利用の方はポータルサイト「ふるさとチョイス」からの申し込みが大変便利です。

ふるさとチョイス : <http://www.furusato-tax.jp/japan/prefecture/04202>

	クレジットカード決済	郵便局での払込	銀行振込
1	ポータルサイト「ふるさとチョイス」から寄附申込・その場でカード決済	ポータルサイト「ふるさとチョイス」から寄附申込 (または、申込書を郵送・FAXにて石巻市役所ふるさと納税担当へご提出)	
2		石巻市から郵便払込票を郵送	石巻市から振込先口座のご案内を郵送
3		郵便局でお支払い手続き (手数料のご負担は生じません)	銀行でお振込み手続き (振込手数料のご負担が生じます)
4	ご入金を確認できしだい、寄附証明書とお選びいただいた特産品を順次郵送いたします		

※申込書につきましては、石巻市ホームページからダウンロードもしくは石巻市役所ふるさと納税担当(0225-95-1111)までご請求ください。

© 2015 石巻市

「第11回 東京・石中会の集い」を終えて ～平成26年7月12日（土） in 第一ホテル両国 清澄の間～



今回の「東京石中の集い」は70名の同窓生が集まりました。石巻中学校同窓会からは浅野 亨会長がご出席され、また女優の鈴鹿景子さん（24回生）が「私の石巻」と題して体験談や朗読を含めた特別公演を行っていただき、大変感動いたしました。懇親会ではお馴染みになりました渡邊公威さん（42回生）・黒木直子さん夫妻と今回初参加の三浦南さん（57回生）、梓さん（59回生）姉妹とのジョイントコンサートが実現し会場は大いに盛り上がりました。

懇親会の最後には校歌の他に石中賛歌も歌うことができ、中学生の頃を思い出していた方もたくさんいたのではないのでしょうか。

今年も7月11日（土）水月ホテル鷗外荘（東京都台東区）で「東京石中会の集い」を行います。同窓生の皆様、久しぶりに「石巻弁」を喋ってみませんか。懐かしい思い出がよみがえるかもしれませんよ。

浅野 剛（36回生）



懇親会の様子①



イベント出演者勢ぞろい



懇親会の様子②

石巻中学校情報(1)

石巻中学校「学び舎」の生い立ち

石巻中学校 前校長 横澤昌憲



「学び舎」。誰にとっても非常に懐かしいものがあります。校舎が新築された時でさえ、自分が学校生活を送った校舎がなくなるというだけでさびしさが募ります。ましてや統廃合等で母校がなくなるときなどは…。今回は、本校の教育活動を記録した「石巻中学校沿革誌」と「石巻の歴史」から、石巻中学校校舎の変遷について紹介させていただきます。

まずは、石巻中学校沿革誌の最初の数行を記します。

昭和22年4月 1日 新学制実施第1年度に入る
4月22日 石巻小学校講堂に於いて開校式並びに入学式挙行
4月23日 石巻小学校より旧北校舎6教室借用、授業開始
1・2年2部授業、3年1部授業

1年生4学級214名、2年生3学級126名、3年生2学級55名の在籍で、1年生などは1学級50数名という超過密状態でした。また、住吉中、湊中も石巻小を借りての授業でした（湊中は、その後湊地区に一旦戻りました）。学校はあっても校舎はないという状況での出発、生徒も教職員も大変だったと推測されます。なお、開校式が行われた4月22日が開校記念日となっています。

昭和22年に現在の中学校制度が始まりましたが、石巻市は、石巻中、住吉中、門脇中、湊中の4つの中学校でスタートしました（現在は市町合併後、統廃合を経て20校になっています）。この4校が市内の“伝統校”と呼ばれるゆえんです。終戦直後の地方自治体は財政が窮乏し、新規の中学校校舎の建築は困難を極めました。当時の石巻市も同じようで、まずは「4校を1か所に集めて…」ということで校舎が建てられたのではないかと思います。その場所が現在の石巻中、使用開始は昭和23年9月でした。では、「校舎（「南鰐山校舎」と言われていたようです）を最初に使用したのは…?」「石巻中！」と言いたいところですが、湊地区から移ってきた湊中でした。そして、昭和24年1月には住吉中も南鰐山校舎に移り、授業が開始されたのです。

それでは、「石巻中はいつ?」。全学年が現在の場所で授業を行えるようになるのは、ずっと先まで待たなければなりませんでした。

昭和25年4月になって現在の門脇中の場所に新校舎（「南鰐山下段校舎」と言われていたようです）が完成し、ここに石巻小からの石巻中と門脇中が移ってきました。門脇中は現在の石巻高校の場所で、旧制石巻中学校（現在の石巻高）と石巻商業学校（現在の石商高、ご年配の方ならば石巻高と並んで在ったことはご承知のことと思います）の教室を借りて授業を行っていたのです。石巻中が移ってきたといっても、生徒数と教室数との関係で、残念ながら2・3年生のみでした。1年生は石巻小校舎での授業を続けざるを得なかったのです。

昭和27年になると湊地区に新校舎が完成し、9月に湊中の生徒が戻ってきました。そのため、南鰐山校舎に空きができ、石巻小で勉強していた1年生が2・3年生より一足先に南鰐山校舎に移ることができたのです。

沿革誌には、「10月14日 1年 小学校借用校舎より現校舎に移転」と書かれています。もちろん、前からいた住吉中生との同居です。

石巻中学校情報(2)

新任の挨拶



石巻中学校 校長 渡部 洋

陽春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度の異動により、渡波中学校から参りました。今年度は、84名の入学生を迎え、全校生徒268名でのスタートとなりました。校舎の耐震工事も終え、本校舎での活動が始まっています。

ですが、今度は門脇中学校が改修工事のため、これまで使っていた仮設校舎にそのまま門脇中が入ります。多少、校庭は狭くなったままですが、生徒たちは5月の石門定期戦、中総体に向けて元気いっぱい活動しています。あいさつや礼儀の良さ、一体となって行事や部活動に取り組む姿勢など、真剣に学習に取り組む姿とともに石巻中の素晴らしい伝統を日々感じています。

東京石中会の皆様からは、母校に対し様々なご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。特に恒例となっております卒業生の方々による教育講演会は、生徒たちが志をより高くするための絶好の機会となっております。前任である横澤校長の意を受け継ぎ、これからも「笑顔と希望にあふれ、夢を追い求められる学校」を目指して学校経営にあたる所存です。皆様には、なお一層のご理解とご協力のほどをお願い申し上げます、簡単ではございますが着任の挨拶とさせていただきます。

平成27年4月

昭和30年に入ると、住吉地区に新校舎が完成し、住吉中の生徒も戻ってまいりました。それによって、最終的に昭和33年8月、2・3年生が南鰐山下段校舎から南鰐山校舎に移ることができたのです。沿革誌には、

「8月9日 現校舎に全学年移転 独立校舎を有す」

とあります。石巻中は開校して11年4か月後にこの地に腰を下ろすことができたのです。長い道のりでした。

その後、南鰐山校舎(石中木造校舎)は、昭和45年から改築が始まり昭和48年4月に現在の4階建て校舎が落成しました。

屋内体育館は、昭和49年3月に完成しています。東京石中会には、このような

歴史的瞬間に石中生であった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

数えてみれば南鰐山校舎は20数年でしたが、現在の校舎と体育館は40年以上の歴史をもつこととなります。

大分老朽化し、昨年から今年にかけては耐震工事が行われました。工事中は、校庭の門中側にプレハブが建てられ、10か月間生活をしました。

石中の校舎は昭和22年から現在まで、各地、各場面で活躍している数多くの先輩方を輩出してきました。今年も、その卵たち115名を送り出しました。総勢で18,159名にも達します。私事ではありますが、縁あってか教職人生の3分の1を石中で過ごすことになりました。自分自身も現在の校舎に強い愛着を感じざるを得ません。



旧校舎



旧校舎



現在の石巻中学校

石巻中学校情報(3)

平成26年度(2014年度)石巻中学校トピックスニュース

1 工夫と充実が見られた学校行事

- ① 大運動会 テーマ「BURING HEART ～燃やせ我らの闘志～」
 仮設校舎が校庭に建設されたことで、狭くなった校庭で例年通り大運動会が開催されました。(8/31)
- ② 群鷗祭 テーマ「華麗 ～300の華たちよ 永久に咲き華麗に舞え～」
 今年は学年によるステージ発表や映像を駆使した実行委員会企画などこれまで以上に多彩で華やかな行事となりました。(10/18)



運動会・応援パフォーマンス



群鷗祭・実行委員会企画



2 水泳競技・陸上競技で東北大会出場

3年生の柴田峻徳君が水泳男子バタフライで県大会、東北大会で次のとおり入賞を果たしました。

- ・100mバタフライ 県大会(7/22) 2位 東北大会(8/11) 8位
 - ・200mバタフライ 県大会(7/22) 3位 東北大会(8/11) 6位
- また、1年生の佐藤舞彩さんが陸上1年女子100mで県大会(7/22) 4位に入賞し、東北大会(8/8)に出場しました。

気軽にご相談ください。

弁護士 鈴木 雅芳
(26回生)

多田総合法律事務所

〒105-0001
 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル3階
 TEL:(03)3597-8855 FAX:(03)3597-8856
 E-mail:suzuki@ts-law.jp

早期復興をお祈りしております
 弁護士 相澤 貞止 (18回生)

岡部・山口法律事務所

〒104-0033

東京都中央区新川1-5-17 エイハ新川5階
 TEL:(03)3555-7931 FAX:(03)3555-7934
 E-mail:a-teishi@olo.gr.jp

石巻の復旧・復興のため頑張っています。

電話 0225(22)2971 市役所通り 栗野蒲鉾店 水産庁長官賞に輝く名品	電話 0225(22)1030 泉町 井上海産物店 海産物のお土産なら	電話 0225(22)1842 アイトピア(大町)通り そば処もりや 老舗の美味しいおそば	電話 0225(93)7718 いしのまきらいふ コミュニティタウン誌	電話 0225(22)0727 イトピア(大町)通り 京屋 きものと帯	電話 0225(22)1258 グランドホテル並び 寶来寿司 味が宝、のれんも宝の老舗	電話 0225(96)3658 ことぶき町通り サルコヤ 玩具や楽器のことなら
---	---	---	--	---	---	---

石巻中学校情報(4)

3 体育館の緞帳（ステージ幕）と校章モニュメントの新調
 老朽化していた緞帳と校章のモニュメントを市の予算で新調しました。
 ※緞帳（10/13） 校章（9月）



体育館のステージ幕



以前の緞帳と校章



新調した緞帳と校章

4 各方面から支援と交流

① 卒業生の井上さんより吹奏楽部へ楽器購入の支援
 現在読売交響楽団で活躍されている井上俊次さん（石中33回生）から、吹奏楽部の楽器購入費として25万円の支援をいただきました。（10/28）



内宮中学校との交流会食会

② 松山市立内宮中学校生徒会との交流活動
 震災後、様々な支援をいただいている内宮中学校の先生と生徒が来校し、本校の生徒と交流活動を行いました。（7/28）

③ 「石中心得」のパネル設置
 石巻市健全育成市民会議からの支援で、生徒昇降口の上部に「石中心得」のパネルを設置しました。（1/21）




石中心得のパネル

5 PTA いじめ標語コンクールで文部科学大臣賞（全国1位）を受賞

2年生の守陽加さんの作品が全国から約40万通を超える応募作品の中から中学生の部で第1位となりました。（決定通知2月下旬 表彰式3/27）
 「助け合ったあの震災 思い出そう 友達っていいな」

石巻の復旧・復興のため頑張っています。

ハンバーグとサラダの店 茅 (KAYA) アイトピア（大町）通り 電話0225(95)2935	 地域の未来と環境を考える 若生工業株式会社 代表取締役 若生 保彦 一 ISO9001・14001 認証登録 一 石巻市清水町二丁目3番3号 TEL.0225-94-1111 FAX.0225-22-0332 http://www.wakiinc.co.jp	都市ガス（天然ガス）・プロパンガス 石巻ガス株式会社 石巻市中央2-7-38 電話0225(96)3007	東京石中会・会員募集！！ 申込みは下記アドレスへ http://tokyosekichukai.com/sekichuukaiboshuu/
---	---	---	--

石巻の復旧・復興のため頑張っています。

電話0225(95)0352 東北プランニング株式会社 広告代理 製作 IT関連	電話0225(22)0138 松川横丁 八幡家 大正二年創業 鰻 割烹	電話0225(93)5111 株式会社 齋武商店 鉄スクラップ古紙リサイクル	電話0225(95)5231 株式会社 石巻日日新聞社 愛する地域を未来の笑顔につなげます	電話0225(22)3348 菓子公司 萬樂堂 焼きたてパンと伝統和菓子の店 立町通り（七十七銀行向かい）	電話0225(96)1717 中国料理 揚子江 飽きない美味しさ・・・ 不動町二丁目（県道沿い）	電話0225(22)6258 株式会社 小松塗料店 震災後南中里に移転しています
---	---	---	--	---	--	---

平成26年度 教育講演会開催される！ 「夢を追いかける」

基調講演テーマ「私のオリンピック」

公益財団法人日本陸上連盟 理事・強化委員長

原田 康弘 氏 (24回生)

今年度の教育講演会は12月5日(金)石巻中学校で開催されました。石巻中学校は本校舎の耐震補強工事のためプレハブの校舎で授業を受けておりました。(平成27年3月には完成して本校舎での新学期を迎えております。)今回はオリンピック・パラリンピックの2020年東京開催が決定し、また国立競技場の聖火台が石巻に仮設置されたこともあり、ホットな話題の中での注目された講演会となりました。講師の原田さんは陸上選手の現役時代には6種目の日本記録保持者そして3種目の日本選手権者でもありオリンピック選手としての夢を追いかけておりましたが日本がモスクワオリンピックをボイコットしたこともありオリンピック参加はできなかった出来事がありました。

また指導者としてのオリンピックへのチャレンジ、そして役員として参加したロンドンオリンピック、リオデジャネイロへのチャレンジ、そして東京への思い、等とさまざまな形でオリンピックへのかかわりを持ちチャレンジをしてきたことを講演されておりました。生徒たちはそれぞれの夢を追いかけ続けることの大切さを感じ、活発な質疑応答が交わされました。分科会では多岐にわたる分野の11名の講師の方々がそれぞれスタイルで講演されておられ有意義なものになりました。講演会終了後には群鳴会会長の浅野会長と懇談をしましたが浅野さんは石巻商工会議所会頭としても聖火リレーを石巻からスタートさせる運動を展開中であり大いに盛り上がりました。東京石中会としても応援していきたいと思っております。

同行者：加藤友成 (18回生)



講師の皆様お疲れ様でした

分科会テーマ講師一覧表

分科会	講師名	講演内容(「仮題」)
1	今野 雅彦氏 石巻コミュニティ放送(株)ラジオ石巻 営業部長	・地元のラジオ局の仕事について ・災害とラジオ放送について
2	滝野 太志氏 音楽プロデューサー シンガーソングライター	・音楽について
3	中川 政治氏 一般財団法人 みらいサポート石巻 専任理事	「ボランティアを仕事にする」 ・NPO、NGOの仕事について
4	中澤 和彦氏 (株)パリュー・ザ・ホテル 営業本部 部長	・ホテルの仕事について ・ホスピタリティ(もてなしの心)について
5	小林 隆隆氏 ※イベント制作会社 (株)S・V・C 代表取締役	・イベント制作の仕事について
6	伊丹 相治氏 宮城県東部地方農業事務所 盛岡地域事務所 事務所長	「私が公務員になったわけ」 ・地方公務員の仕事について
7	鈴木 吉雄氏 イオンモール石巻 営業部長	・大型店の仕事について
8	伊藤 晋朗氏 ※元IBMアメリカ駐在員 NPO法人 まちの恵り会 代表理事	・ボランティアについて ・アメリカ人の考え方について
9	阿部 浩幸氏 石巻赤十字病院 薬剤師	・薬剤師の仕事について
10	木村 一成氏 ※たらのこの製造・販売 美水舎(株) 代表取締役	・「たらのこをつくろう」 ※たらのこを使った美習を行う

生徒からの感謝のメッセージ

【お話を聴きまして考えたこと】

私は今日、お話を聴くまでには知らなかったこと、たくさんあった。それ、然りしたこともあった。オリンピックの選手村のこと、オリンピックの裏話的なことを教える、今までよりも、オリンピックのことを知ることにできました。
また、将来のことを考えるから、夢を思い続けること、あのこれ、人を追い抜くという、自分と競う、競争の心、自分にも、強い気持ちをもつ、そのことを目指して、行きたいと思ったり、また、また、その夢が叶った、それで終わりではなく、その先のことを新たに考えること、その夢を実現させて続けること、大切なことになりました。今、自分なりに、これは、いくつかのことで、じっくり考えて、やっていきたいと思っています。

【お話を聴きまして考えたこと】

まず、お話を、オリンピックについて話していただきました。オリンピックには205ヶ国が加盟している。一番の公用語はフランス語。少しオリンピックについての知識が身についただけで、オリンピックや世界が身近に感じました。次に、原田さん自身について話していただきました。高校時代の40分歩くこと、精神力を鍛えること、つなげた瞬間、私は様々な困難な事も自分の力になることがわかりました。原田さんは競技者として自分も自分の夢であるオリンピックに関わりたいと思っています。講演のおかげで、夢を思い続けることが大事、だとおっしゃいました。私は、今日の講演会が、自分たちにとって、壁を問題と1つ1つクリアしていく、1つの目標に向けて、1歩ずつ歩んでいこうと思えました。

【お話を聴きまして考えたこと】

とても貴重なお話が聞けて良かったです。
オリンピックについてのお話は、驚きを覚えました。オリンピックには205ヶ国も加盟しているとき、私は100ヶ国もないと思っていたので、驚きました。オリンピックが世界的に大きな行事だということが改めてわかりました。また、なぜ第一の公用語が英語ではなくフランス語なのか疑問に思いました。私はオリンピック選手にはなれませんが、フランス語も勉強してみたいなりました。
夢を追い求めて、それを掴んだときに、どのような感動を感じられるのか、大切な理由を原田さんはおっしゃっていましたが、私には今のところ明確な夢がありません。ですが、それによって、どのような感動が得られるのか楽しみにしながら、夢を明確にしていきたいと思っています。

【お話を聴きまして考えたこと】

オリンピックの公用語は英語だと思っていたのですが、1番目かフランス語だ、聞いてびっくりしました。また、オリンピックのマーチ(五輪)は、赤がアメリカ、黄色がアジア、緑がヨーロッパ、青がヨーロッパ、黒がアフリカというように、1つ1つの輪は五大洲を表している。世界が分かっているように、大切にしていることを学びました。講師の方は、高校時代の毎日学校に40分の時間をかけて、精神力を強く鍛えた。大空時代にライバルというコンセプトに、自分も同じように、自分も周りの影響を受けながら、自分も高のレベルを目指したい、と思いました。私たちが先生と交際するのは、周りのみんなに付いていけるようになりたい、という目標を、自分ももっと頑張りたいと思っています。

【お話を聴きまして考えたこと】

今日は去年とは全然違うスポーツについての講演でした。やはり、ライバルの種類がいろいろ、はまりたい目標がある人は強く励むんだと思います。
また、オリンピックは4年かけて、本番の舞台に自分の力と、押し抜いていくのは、かなり難しいので、そこで結果を残せる人は本当に一流なんだと思います。
2012年のロンドンオリンピックの映像もたくさん見ておもしろい。実際に、行っているのを聞いて楽しかったです。
また、2020年の東京オリンピックは、2020年7月のお話でしたね。なんでも、私も頑張りたいです。

【お話を聴きまして考えたこと】

原田さんのお話を聞いて、小学生からの夢がある。「オリンピックに出る」という夢を叶えたいということも、有るのかなと思いました。私は夢がまだ決まていませんが、自分が好きだと思えるようなことを感じて、それを叶えたいなりたいです。また、「あそこを追い抜く、あそこに行かなくはない」という言葉が印象に残りました。最近などでは、部活の先輩が、あそこまでの、今の後輩にあそこから出るように、なりたいです。6年後のオリンピックでは、なにかの形でかかわりたいなりたいです。



石巻日々新聞提供



講演会の様子①



生徒から花束贈呈



講演会の様子②



陸上部の生徒と一緒に記念撮影

ア・ラ・カ・ル・ト (1)

懐かしい！！久々に「石巻中学校会同窓生の集い」を開催！！

～平成27年3月30日（月） in 石巻グランドホテル～ 天翔の間

平成27年3月30日に石巻にて「石巻中学校同窓生の集い」が開催されました。同窓会は10年ぶりということもあり、同窓会の浅野 亨会長をはじめ100名近くと同窓生が集まりました。また石巻中学校で長年教鞭をとってこられ、かつ教頭、校長として奉職されてきた横澤昌憲校長先生が退職されるということもあり、当時の教え子達が中心となって「石中 IMA むかしの物語」と題したビデオ上映会を行われ、大いに盛り上がりました。

同窓会事務局からは今回の同窓会を機会に定期的に同窓会を開催していくことが発表されました。

次回は平成28年4月23日（土）に行われます。離れ離れになっている同級生の方たちに声をかけて、久しぶりに集まって石中校歌を歌いましょう！

浅野 剛 (36 回生)



石巻中学校同窓会役員名簿

会長	浅野 亨
副会長	大津 幸一
副会長	成沢 英治
副会長	小松 正幸
副会長	井上 一
副会長	佐藤 禎久
副会長	熊倉 一徳
副会長	黒田 秀樹
副会長	齋藤 祐司
副会長	小野寺 潤
副会長	阿部 久利
会計	高橋 則子
会計	大橋 新弥
監事	神室 清利
監事	千葉 敦夫
事務局長	木村 美保子
事務局次長	後藤 春彦
事務局次長	遠藤 一恵
幹事	鈴木 義孝
幹事	星沢 茂子
幹事	須藤 弘三
幹事	大丸 正則
幹事	立花 善夫
幹事	久我 文敏
幹事	阿部 浩幸
幹事	榊 顕雄
幹事	伊藤 武彦
幹事	石垣 優子
幹事	阿部 紀代子



浅野同窓会長の挨拶



全員で校歌斉唱



横澤校長の挨拶



木村民男元校長から記念品贈呈



東京石中会 飯田会長の挨拶



当時の教え子達に囲まれて

幹事	中荒井 昇
幹事	佐藤 正洋
幹事	松本 鉄幹
幹事	会田 直弘
幹事	留畑 豪紀
幹事	伊藤 千晶
幹事	相澤 健一
幹事	清水 真理子
幹事	守 雅章
幹事	大森 憲一
幹事	廣中 孝彦
幹事	阿部 由貴子
幹事	伊藤 陽一
幹事	佐藤 睦
幹事	桂田 文逸
幹事	大丸 英則
幹事	後藤 峻
幹事	木村 亜梨沙

ア・ラ・カ・ル・ト (2)

「3.11を忘れない」コンサート ～平成27年3月14日(土) in 和光市民文化センター～

東日本大震災から4年が経過した平成27年3月14日、「3.11を忘れないコンサート」が和光市文化センターで開催されました。コンサートは感激・感動・感謝のうちに終了いたしました。東京石中会は微力ながら少しでもお役に立てればと考え今回のイベントの後援をさせていただきました。ここに主催していただいた「和光3.11を忘れない実行委員会」様からコンサートの様子を紹介していただきました。

加藤友成 (18回生)

感動！

和光3・11を忘れない実行委員会
事務局長 齋藤 大介

3月14日、埼玉県「和光市民文化センター」で、石巻市民交響楽団と石巻合唱連盟有志の合唱団60人が上京、首都圏のオケ・合唱400人とのジョイント演奏会を開催。大川小出身の佐々木克仁指揮者、石巻出身の声楽家渡邊公威さんや渡邊かれんさんらに、東京石中会の後援を頂いた繋がりから石高や石女出身の皆様も観客として大勢会場にお見え頂き、約1000人で満席。

3・11直前から今年5月までの石巻での演奏(予定)4曲。中でも「カンタータ大いなる故郷石巻」で、涙した方々も散見。誰もが「大変感動」と。



会場は満席でした



石巻市文化協会 西條会長の挨拶



渡邊公威さん(42回生)も参加しての大合唱

復興まちづくり情報交流館中央館(石巻復興情報館)オープン



石巻日々新聞提供

震災の風化防止と復興事業の進行状況や将来像を発信する「石巻市復興まちづくり情報交流館中央館」が2015年3月7日に中央2丁目(橋通り)にオープンしました。

館内には地域の様子を伝える写真パネルなどの展示コーナーや、市民活動をサポートする交流スペースが用意されています。隣地には復興マルシェに代わる商業施設の橋通りCOMMON(コモン)が4月にオープンし、また近くには石巻ニューゼ、つなぐ館などの施設もありますので、石巻へ行かれる際は是非立ち寄ってみてください。

浅野 剛 (36回生)

ア・ラ・カ・ル・ト (3)

サプライズニュース IN 石巻

首藤光春 (8回生)
参照・石巻日々新聞他

①天皇皇后両陛下がお目見えになる

3月14、15日の両日にわたって22年ぶりに訪石された両陛下。4年目を迎え仙台市で開催された国連防災世界会議に臨んだ後、石巻ご視察となられた。日和山では「決して風化させてはなりません」と話され、午後二は鳴瀬庁舎で説明を受けられた。石巻グランドホテルご宿泊の翌日には白謙蒲鉾工場に足を運ばれた。近所には多数の子供達が日の丸の小旗を振っての大歓迎に両陛下も微笑み一杯の表情で応えられていた。



石巻日々新聞提供

②ウイリアム英国王子がやってきた

3月1日に来石された同王子は日和山からの眺望に黙祷され目頭を熱くするシーンもみられた。亡き被災者へのおもいを故人の母親ダイアナ王妃をダブらせたようだ。世界の人気を集めるウイリアム王子の人柄の一端を垣間見たようだ。その後、女川町の「きぼうのかね」商店街を視察するなど被災者への心に寄り添う気持ちを感じさせた。



石巻日々新聞提供

③聖火台を一時預かりの栄誉

国立競技場の解体に伴い5年後の東京五輪の新築までの間、聖火台が石巻運動公園でお預かりの誉れに浴した。早速、ハンマー投げのメダリスト室伏選手が訪れ石巻スポーツ少年団の子供達と聖火台の磨き掃除に汗を流した。「本番の聖火リレーのスタートを石巻から」を合言葉の市体育協会中心の聖火台誘致委員会(浅野亨商工会議所会頭・群鴫会会長)は数々の盛り上げイベントを企画中だ。



石巻日々新聞提供

④石巻線・仙石線相次ぎ復旧開通へ

3月21日には終点女川駅まで、5月30日には終点石巻駅までそれぞれ足の便が確保され喜びにわいている。仙石線は高城町駅からは東北本線・松島駅を経由しての復旧となった。これで従来に快速・石巻一仙台間70分から60分へと利便性も増した。とにもかくにも「やれやれ、ほっとしたね」の声が一斉にもれていた。



石巻日々新聞提供

ア・ラ・カ・ル・ト (4)

コーヒーブレイク・コーナー 同期生コラボ上梓 極上至福の一冊

詩人・鈴木健司 & 写真家・川島あつ子 『優しいところ』



コーヒーの味が倍加するような粋で垂涎なサプライズ話がある。同期（8回生）の鈴木健司さんが詠み人詩人で川島（旧姓・三宅）あつ子さんが写真家となって傑作品を集めたコラボ出版をやったのけた。「お互いの趣味を生かした作品集雅できたら楽しいだろうね」の同期会席上の軽談を現実化してしまったのだから驚きであり羨ましいかぎりではある。

同期会、同窓会効果の極みであり、よきモデルを示してくれたことに感動と感銘を同期生のよしみとして共に享受させていただいた。二科展の会友でもある川島出展作品1枚1枚の物語に健司ポエマーはフォトイメージに合った詩を添えている。まさにタイトルに相応しい「優しいところ」が全編にわたって染み入っており読者をロマンの世界に誘う。

齢七十五の後期高齢者ならぬ「高貴高齢者」の称号をあげたいものだ。論語『七十にして心の欲する所に従って矩をこえず』の孔子さまの教えを守りつつも新たなる次作を期待したい。なお鈴木健司さんは前副会長兼会計部長として尽力、かつ母校石中にて「鉄に生きる」の教育講演会で熱弁を奮った。また会報「友よ」の常連俳句投稿者としてもおなじみである。川島さんは振ると石巻への本職の手織りマフラーなどの収益金を現地に

出向き手渡しプレゼントのボランティア活動を毎年行っている。3月には銀座にて被災地・石巻の個展を開催しカメラ専門誌（フォトコン4月号）および河北新報の取材を受けそれぞれ特集掲載として脚光を浴びている時の人でもある。価千金の誇るべき一冊を手にして、ご兩人を同期そして同窓にいただいたことは、熟成ブレンドされた一杯10万円のコーヒーを含んだような至福の心境でもある。てなわけで、んで、まず。お後がよろしいようで。

首藤光春（8回生）

昔懐かしい「石巻弁」

会報・総会の案内と同封の石巻のタウン誌「いしのまきらいふ」はお読みにになりましたか。このタウン誌は毎月発行で、東京石中会の会計担当の役員をしている星野祐一さん（25回生 橋通りの元ホシノ洋品店オーナー）が月1回の役員会の席に持ってきてくれる貴重な石巻情報誌です。私などは毎度楽しみにして石巻を懐かしんでいます。編集長は亀井一実さんで、文才、取材・編集能力は飛びっきりの優れものです。（実はまだ一度も会ったことがないのですが、是非お会いしたい女性です。）

いつも真っ先に見るのは、「石巻弁」のコラムです。2014年皐月号を紹介しましょう！

『あんだのむすこもなぎびっちょだった。』（あなたの息子さんも泣き虫でした。）

【近所づきあいのある婆ちゃん二人の会話】

- さっきいねがったげんとも、どごさ行ってだのっしゃ。
- 保育所さ行って、孫ば迎えさ行って来たんだでば。
- 具合でも悪くなったのすか。
- んでねのっさ。まんず、ずっとママ～ママ～って泣いでばりいんだど。先生もまいってすまって、迎えさ来てけらいんって電話かがってきたがらっしゃ。
- そんなで、ママの代わりに婆ちゃんが迎えさ行って来たのすか。
- ママ仕事だおん。孫でば車の中でもピーピー泣いでだげんとも、家（うづ）さ着いだっけ泣ぎやんでケロツとすてすた。こいなごど何回があんだでば。保育所さ行ぎでぐねえんだべが。

● そう言えば、あんだの息子も泣ぎびっちょだったんでねえの？

○ んだっけが。んで親さ似たんだいっちゃ。息子はだいさ似だんだが。

（参考文献；辨天丸孝著「石巻弁」・「石巻の歴史」）

懐かしんで頂けたでしょうか。折角ですから、大きな声で音読してみてもどうでしょうか。次号は石巻の「〇〇横丁」シリーズを紹介する予定です。



飯田勝紀（9回生）

年会費の納入、ありがとうございました。

●平成26年度・東京石中会・年会費払込者名簿

[3回生] 阿部 剛・大木 郁子・秋保 光子・武山 勝・青沼 義信・森山 滋之・後藤 久男・水澤 昇・結城 常明・坂本 武久・嶋田 寿子 [4回生] 森田 亨子・大西 葉子・阿部 剛夫・大熊 正子・金野 和夫 [5回生] 佐藤 仁子・松本 悦子・上原 藤三・渡邊 寛治・阿部 道子・遠藤 明夫・小松 悦子・越後 京子・徳江 明・鈴木 恵美子・早川 幸子・猪俣 昌子 [6回生] 久道 勝信・中村 繁子・細川 金子・長崎 紀久子 [7回生] 伊藤 恵子・金澤 功・田上 富美子・橋本 洋二・芦原 尚 [8回生] 首藤 光春・鈴木 健司・山手 てい子・御牧 道子・樽見 和子・畠山 尚・川島あつ子・菅野 邦子・佐藤 恭子・松田 勝治・高嶋 展廣・今野 ひさ子・金森 喜美子・市川 洋子・高橋 静子・塩谷 洋子・澤田 知子・元安 茂子・古胡 満子 [9回生] 飯田 勝紀・野崎 ナホ子・森 孝二・後藤 安男・山川 孝子・早田 光・菊池 正・青山 さわ・田中 龍子・梶田 洋子・高橋 洋治・伊藤 幸子・加藤 行雄 [10回生] 角田 守弘・今井 和代・緒方 正子・大高 朋子・田代 勝彦・本田 生子・勝又 勝・川野 澄子・斎藤 宣子・高泉 正勝・舘 克憲・高橋 修 [11回生] 池永 貴美子・渡邊 みよ・間部 和子・高橋 和子・零石 登志子・後藤 永子・鳴海 佳子・栗原 光男・三宅 靖代 [12回生] 西條 修・金澤 由紀子・金澤 洋・蟹澤 詔子・佐藤 正克・今井 あい子・村上 秀一・関根 斉・安田 淳子・吉田 義男・南里 憲三・諏佐 良子・門間 糸子・夏日 都善子・岡崎 国男・岡崎 好子・榊 経子・西条 純一 [13回生] 佐々木 次臣・佐々木 文江・竹内 政子・岡田 ちづ子・赤塚 誠哉・植草 良子・志白 清子・今野 秀洋・米田 政明・八重樫 典雄・須田 正毅 [14回生] 山中 圭子・高橋 真理・細川 忠勝・清宮 三代子・梅沢 智・鈴木 照子 [15回生] 星 憲夫・山形 昌子・今野 和子・畠山 清光・星澤 晋・西条 紀郎 [16回生] 葉 良枝・坂口 いく子・青山 憲介・金澤 哲・藪田 美智子・熊谷 徹・佐藤 政彦・須田 厚・森岡 芳朗・岡 康博・渡辺 啓子・小山 慶孝・吉田 義弘・大久保 和夫 [17回生] 佐藤 真木夫・佐藤 秋男・熊谷 道夫 [18回生] 小野 恵久子・田村 隆・本橋 富久子・鈴木 清勝・小笠原 けい子・西田 美知子・山崎 容子・加藤友成・吉田 りり子・相澤 貞止・高橋 誠・志村 明子・出雲 雅明・笈原 健・中西 園子・加藤 京子・井桁 美紀子・塩田 美和子・石森 邦明 [19回生] 亀山憲一郎・杉山 茂・星 武雄 [20回生] 茂泉 克則・佐々木 千代子・唐澤 泰子 [21回生] 高橋 郁夫 [22回生] 穴原 直子 [23回生] 岡田 文彦 [25回生] 師岡 千英子・溝辺 佳代子・尾口 英昭・榎野 照子・住 いづ子・土井 敏彦・佐々木 耕志・星野 祐一 [26回生] 高橋 裕子・渡辺 淳・高橋 周泰・鈴木 雅芳・斎藤 恵子 [29回生] 阿部 泰 [32回生] 高橋英二・清水昭浩・菅原 洋樹 [33回生] 井上 俊次 [34回生] 星野 知倫 [36回生] 浅野 剛 [40回生] 成家 新一

(以上順不同・敬称略)

●寄付者

[3回生] 阿部 剛・大木 郁子・青沼 義信 [4回生] 阿部 剛夫 [5回生] 遠藤正子・鈴木 恵美子・早川 幸子・上原 藤三 [6回生] 細川 金子 [8回生] 首藤 光春・鈴木 健司・樽見 和子・古胡 満子 [9回生] 飯田勝紀・伊藤 幸子・加藤 行雄 [14回生] 梅沢 智 [18回生] 相澤 貞止 [31回生] 木村 美保子
浅野亨・東京住吉会・市女高関東支部・石商関東支部・東京しらうめ会51

(以上順不同・敬称略)

お振り込みに際してお願い

窓口を通してお振り込みされますと、手数料が130円徴収されます。振り込み用の機械(ATM)で振り込まれますと、手数料は80円となります。できるだけ、振り込み用の機械(ATM)でお振り込みされますよう、お願いいたします。

(平成26年度会計報告は今年7月総会にて行います。)

東京・石中会への寄付

東京・石中会も今年で11周年となりました。会の運営は、基本的には同窓生皆様からの貴重な年会費を財源としておりますが、事務費用その他の活動で、財政的にはまだまだ脆弱な面を有しています。

東京・石中会では、引き続き皆様からの貴重なご寄付を受け賜っております。ご芳志は、下記事務局長宛にお送りくださいますようお願いいたします。

加藤 友成

〒330-0856 さいたま市大宮区三橋4-339-4

事務局だより

日頃は東京石中会の活動にご協力・ご支援を賜り誠にありがとうございます。東日本大震災から早くも四年になりました。東京では次第に震災の記憶も薄れてきているのを感じないわけにはいきません。私たち石巻出身者はふるさと石巻への思いを込めて少しでもお役に立てるように努めていきたいと思えます。今号では「ふるさと納税制度」について解説をいたしました。特産品のお礼やら税金控除の特典やらとお楽しみもあり、できる範囲で結構ですのでご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。さて去る平成二十七年三月三十日、石巻グランドホテルにおいて「石巻中学校同窓生の集い」が開催されました。浅野会長はじめ新役員のもと来年の総会に向けて大いに盛り上がりました。これからは石巻との連携もより一層強化されていくものと確信しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

編集・広報

委員長 浅野 剛
委員 首藤 光春

事務局長 加藤 友成

第12回

東京・石中会の集い

7月11日(土)

開場 11:30
開宴 12:00

水月ホテル 鷗外荘

東京都台東区池之端3丁目3-21

お申し込みは、はがき又は下記URLから承っております。

<http://tokyosekichukai.com/tsudo-annai/>

広報誌「友よ」発行部数：1700部、主な配布先(予定)：東京石中会会員、石巻中学校、石巻市、石巻市図書館、等